

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/11/11号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 戻り高値更新後に反落

NY原油先物相場は、1バレル=72.88ドルまで上昇して10月14日以来の高値を更新した後、70ドル前半まで反落する展開になった。11月3日に石油輸出国機構（OPEC）プラスは、減産縮小計画の開始を1ヵ月延期し、2024年12月末にすると発表した。サプライズ感は乏しかったが、原油市場では素直に好感されている。また、引き続き中東情勢が不安定化していることもポジティブ。米大統領選と前後してイランがイスラエルに対して攻撃に踏み切るとの観測は実現しなかったが、先行き不透明感は維持されている。ただし、11月5日の米大統領選後は米金利上昇・ドル高が進行したこともあり、高値では利食い売りを進める動きも目立った。週末直前には一時70ドルを割り込む場面も見られた。

OPECプラスの減産縮小は2回目の延期となった。本来だと12月には日量18万バレル規模の供給増が見込まれていたが、現在の市場環境では減産縮小は困難と判断された。ロシアなどからは、来年以降の対応についても協議を行う必要性が訴えられている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（11月1日時点）は、原油が前週比215万バレル増、ガソリンが41万バレル増、石油精製品が295万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 中東に大きな動きがなければ、改めて上値重くなる

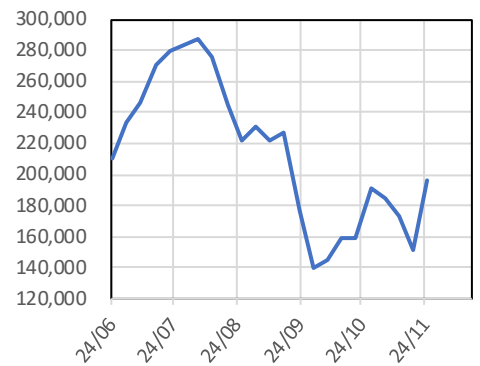
中東地政学リスクで買い進むか、需給緩和見通しで売り込むのかが問われる地合が続く。短期テーマを探りながらの地合になるが、このまま中東で軍事衝突が見られないのであれば、徐々に戻り売り優勢の地合に回帰しよう。

引き続き中東情勢には注意が必要であり、特にイランのイスラエルに対する攻撃が実行に移されると、一気に75ドルを突破する可能性も想定しておく必要がある。その際には、イスラエルがイラン石油施設を攻撃するリスクもあり、中東情勢次第では突発的な上昇リスクを抱えよう。一方で、このまま中東で軍事衝突が見られないのであれば、原油価格のみを大きく押し上げていくことは難しくなる。大規模な供給障害がなければ、需給緩和見通しが強いことには変わりはない。改めて60ドル台後半にレンジを切り下げるリスクが高まる見通し。

11月12日に石油輸出国機構（OPEC）、14日に国際エネルギー機関（IEA）が最新の月報を公表する。ここで需要見通しの引き下げといった動きが見られると、調整売りが広がりやすくなる。また、15日に発表される中国の10月経済指標もイベントリスクとして注目したい。

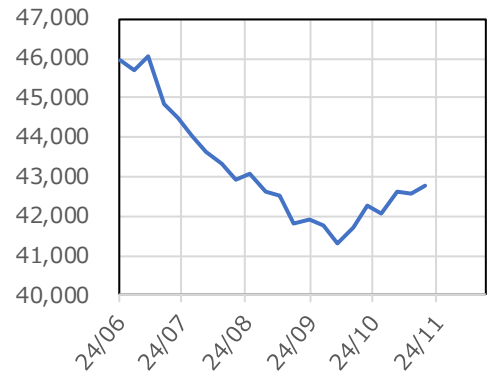
11月5日の米大統領選では、トランプ元大統領が勝利した。トランプ氏は国内エネルギー産業を支援する姿勢を鮮明にしており、増産圧力が強まりやすくなることはネガティブ。一方、トランプ政権はインフレリスクを高めるとの見方から、米長期金利上昇・ドル高が進んでいることもネガティブ。米大統領選の結果は原油相場の押し下げ要因になりやすいが、直ちに原油相場を押し下げていくまでの効果はみられないだろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



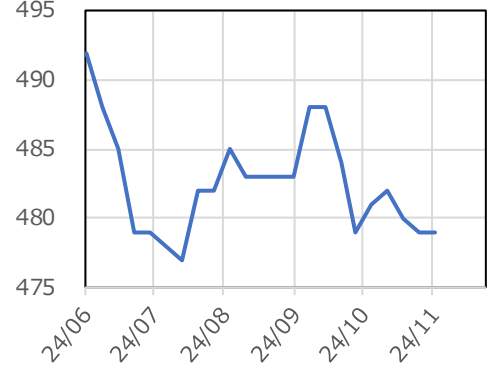
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

